

青陵図書館だより 6がっ号

令和4年6月7日

青陵中学校
司書 青木洋子

なぜなぜです

のむとこの世にいられ、

のまれるとあの世に行かなくてはならないもの 'なあに？'



青陵中学校図書館
の本を探す

答えは…水。このタイのなぜなぜは、水が私たち人間にとってとても大切で、ときには脅威となる存在であることを思い出させてくれますね。

水がいつもより身近に感じられる梅雨。梅雨以外にも花時雨（はなしぐれ）や秋霖（しゅうりん）、氷雨（ひさめ）など、雨は日本の四季の繊細なうつろいを感じさせてくれます。農耕民族にとっての水は何よりも大切な存在、神として祀られるもの。神の怒りにより文明を破壊する大洪水神話は世界中に多く存在します。水害や土砂災害を起こす大雨は、気候変動への具体的な行動に真剣に取り組まないと自らを滅ぼすことになる…という人類への警鐘。これは SDGs の目標の1つですね。SDGs の開発目標には清潔な飲み水とトイレについての目標もあります。

梅雨だ、雨だ…「水」特集

図書館では「水」に関する特集展示をしています。「水」が重要なモチーフとなっている小説も紹介しています。図書館で本を読んで、身も心もうるおわせよう！

図書委員会の新企画！

BOOK RADIO season2 スタート！

松田先生を初回ゲストにお迎えした第1回放送、いかがでしたか？放送内で勧めていただいた本を展示しています。借りたい人は早い者勝ちですよ！

次回ゲスト湯澤先生への質問は、校内・図書館内に設置した質問投稿BOXにどうぞ！（学年とラジオネームもお忘れなく。）あなたの投稿が放送で読まれるかも？！パーソナリティーとリスナーで番組を盛り上げよう！

図書館からの挑戦状 ～これを解ければ君も図書館マスターだ！

図書館で楽しむ謎解き企画です。
ある作家のある名作を答えてください。
（答えがわかった人は
秘密厳守でお願いします！）



青陵中図書館へようこそ！！

ロイロノート 資料箱
学内共有 > 図書館
> 図書委員会より
で視聴できます。

昨年度後期図書委員会制作の 図書館紹介動画

『青陵中図書館にようこそ！』がロイロノートの資料箱にアップされました。

図書館利用ルールやイベント、おすすめ本などがわかる力作です。

今月の新着図書

分類記号	書名	著/編者	出版者
007 ㊦	僕とアリスの夏物語—人工知能の、その先へ—	谷口忠大	岩波書店
104 オ	むかしむかしあるところに、哲学者がやってきた	小川仁志	高橋書店
238 ク	物語ウクライナの歴史	黒川祐次	中央公論新社
291 キ	京都のトリセツ(地図で読み解く初耳秘話)		昭文社
291 ナ	奈良のトリセツ(地図で読み解く初耳秘話)		昭文社
388 サ	妖怪がやってくる PICK UP!	佐々木高弘	岩波書店
726 イ	イラストレーション 2022	平泉康児	翔泳社
913 ア	赤と青とエスキース	青山美智子	PHP 研究所
913 ア	同志少女よ、敵を撃て  本屋大賞受賞。本当の敵は誰か?	逢坂冬馬	早川書房
913 ア	むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました。	青柳碧人	双葉社
913 ウ	香君 上/下 PICK UP!	上橋菜穂子	文藝春秋
913 コ	54 字の物語∞  友の裏切り、いじめ…そして孤立。あなたの世界は「何」でできている?	氏田雄介	PHP 研究所
913 サ	世界は「」で満ちている  魔力でも呪いでもなく「言葉」の力で悪意を増殖させる「闇ハラメント」	櫻いいよ	PHP 研究所
913 ツ	闇祓	辻村深月	KADOKAWA
913 ハ	はじめての  YOASOBI と直木賞作家のコラボ小説集。はじめて〇〇したときに読む物語。	辻村深月ほか	水鈴社
913 フ	すべての恋が終わるとしても  コロナに立ち向かうために AI が選んだ総理大臣は徳川家康?! 時代を超えたオールスター内閣の実行力が痛快! が、そこで事件発生…	冬野夜空	スターツ出版
913 マ	もしも徳川家康が総理大臣になったら	眞邊明人	サンマーク出版
913 モ	岬のマヨイガ—映画ノベライズ—	柏葉幸子 / 原作 森川成美 / 文	講談社
929 リ	三十の反撃  本屋大賞翻訳小説部門受賞。非正規で働く韓国の平凡な若者たちが社会への小さな反撃をはじめ。	ソンウォンピョン	祥伝社
913 コ	ハニーレモンソーダー—映画ノベライズ—	後白河安寿	集英社
913 シ	まだ見ぬ春も、君のとなりで笑っていたい  無自覚な言動と心の裏のズレにゾッとするかも。	汐見夏衛	スターツ出版
913 ツ	噛みあわない会話と、ある過去について	辻村深月	講談社
913 ツ	残像に口紅を  tik tok で話題となった本作はなんと 30 年以上前に発表された小説。話が進むごとに世界から文字が消えていく…言葉と概念の消滅を描いた実験的小説	筒井康隆	中央公論新社
913 ヒ	魔力の胎動	東野圭吾	KADOKAWA

PICK UP!

司書イチオシ本 香君 (上・下)

活神「香君」と奇跡の穀物「オアレ稲」によって周りの国を支配する帝国。しかし虫害の発生からつぎつぎに連鎖する災いに加えて、政治的な駆け引きや利害関係がからみ、帝国は飢餓の危機に直面。万象を香りの声として聞くことができるアイシャが世界を救うために奔走する。自然界の繊細なバランス、人間の弱さと強さについて考えさせられる。



妖怪がやってくる

昔の記録や物語、古地図をもとに、妖怪の正体は何かを探る。時代とともに妖怪の出現する場所が変わってきた理由についても考察をすすめていく。『妖怪ウォッチ』『鬼滅の刃』での描かれ方にもなるほど! そういう見方もできるのかと納得。

「正解のない問い」について探り、考察を重ねていく過程もおもしろい。読みやすい文章

